



第120号
平成30年
7月10日発行

蒼雲

【発行】
島根県立三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町三刀屋 912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【三高トライアングル学習】

課題研究
課題発見力・課題解決力
プレゼンテーション力



授業 知識・技能・思考力
判断力・表現力

家庭学習 基礎学力の補強

三刀屋高校では、平成二十九・三十年度に「教育課程実践モデル事業」に取り組んでいます。これは、島根県教育委員会が生徒の主体的・能動的な学びを追求し、授業・評価およびカリキュラム設計等の改善を推進する高等学校を実践研究校として指定し、その成果の普及を図ることで学習指導の改善・充実を図るものです。三刀屋高校では、「授業」「家庭学習」「課題研究」の有機的結合を図る「三高トライアングル学習」をテーマにさまざまな取り組みを行っています。

三高トライアングル学習による 授業・家庭学習・課題研究の有機的結合

平成二十九年度は、これからの社会で求められる力と三刀屋高校の生徒の現状の分析から、生徒に身につけて欲しい力についてまとめ、各教科での指導の重点や具体的な指導方法の工夫をまとめました。授業では、今年度（平成三十年度）の入学生が受験する二〇二一年一月の大学入学共通テスト（現在のセンター試験にかわるもの）も見据え、知識を活用して思考・判断する力を養う取り組みを行っています。これまでの「教える場面」を大切にしつつも、「考える場面」や「表現する時間」を各単元に設定するなどの改善を行ってきました。その手段のひとつとして、一年生の教室にプロジェクトを設置するとともにタブレットを購入し、ICTを活用した授業が行いやすい環境を整えてきました。

平成三十年度は、家庭学習のあり方を改善し、スマートフォンのアプリケーション「Classi」を活用した家庭学習の課題配信や学習時間調査などの取り組みを始めています。課題研究では、授業（教科の学習）との有機的な関連を図るため、一年生の五月に「社会探究ゼミ」を実施するなどカリキュラムの見直しを図っています。冬には二年間の事業での取り組みをまとめる予定です。



【未来創造探究Ⅱ フィールドワーク】

三刀屋高校ではキャリア教育に関するカリキュラムの見直しに伴って、これまで行ってきた「課題研究」の名称を「未来創造探究」に変更しました。これは、地域の課題に取り組むことが新しい未来を創造していく鍵となるという前向きな意識を表したものです。

二年生は、昨年一月から自分の興味・関心や進路に関わる地域の課題について、テーマを設定して課題に関する現状調査を行ってきました。

六月十二日にはフィールドワークを行い、テーマに関連する事業所でインタビューを行ったり、アンケートのお願いに伺ったりしました。一年生の時からお世話になっていた事業所もあり、快くインタビューに応じてくださる方が多く、とても充実したものになりました。この結果をもとに、更に夏休みなどを使って追加の情報収集を行ったうえで改善提案をまとめていく予定です。

ご協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。

【3年生学年集会・進学説明会】

総体も終わり、三年生はいよいよ本格的に進路実現に向かう季節となりました。総体終了後の学年集会では、進路指導部長の仲西先生から部活動などを最後までやり切った経験が進路実現においても力になる、学力はここから伸ばせるというお話がありました。学年主任の持田先生からは一日一日、特に始まりを大切にしよう、自分を信じて仲間・家族・教員と一緒に目標を達成しようというお話がありました。

六月二十九日には進学説明会があり、中国地方を中心にたくさんの方の大学・短大・専門学校の方にご来校いただきました。多くの生徒が志望校や興味がある学科の説明を聞き、情報を得ていました。

放課後補習も始まり、三年生が一体となって進路実現に向かって学習を進めています。



お詫びと訂正

「蒼雲」第一一九号の記事に誤りがありました。女子ソフトテニス部 試合成績

誤) 若槻・土屋ペア 中国大会進出
正) 若槻・土谷ペア 中国大会進出

土谷さんならびにご関係の皆様、読者の皆様に謹んでお詫び申し上げます。

八月の行事

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
文化祭②	文化祭①	全日学園祭準備	全日学園祭準備	午後学園祭準備		1・2年全統記述模試(希望者)	午後学園祭準備	午後学園祭準備	午後学園祭準備	午後学園祭準備	午後学園祭準備	午後学園祭準備	開寮					学校開庁日(16日)		山の日	3年全統M模試 開寮	3年全統M模試・就職公務員模試	3年全統M模試	3年集中学習日②	3年集中学習日①	3年集中学習日①	3年夏期補習⑤	3年夏期補習④	3年夏期補習③	



平成29年度 中間報告会



平成29年度 第7回研修会



ICTを活用した授業

祝 全国大会出場

俳句甲子園 地方予選会

俳句甲子園は、正岡子規や高浜虚子など有名な俳人の出身地、松山市で開かれる高校生の俳句大会です。6月9日(土) ビッグハート出雲で開催された第21回全国高等学校俳句選手権大会(俳句甲子園) 地方予選会に文芸部の3年生5名が出場しました。

対戦は5人1組のチーム戦で、あらかじめ与えられていた3つの兼題を使って作った句をもとにディベートが行われ、句の出来栄+ディベートの内容で勝敗が競われました。強豪校がひしめく中、三刀屋高校生らしい、のびのびとして自由な感性の句が評価され、見事に優勝を勝ち取り、初の全国大会出場を決めました!



蒼雲 119号では運動部の活躍を取り上げましたが、文化部も頑張っています。



雲南地区吹奏楽祭

5月27日(日) ラメールで開催された雲南地区吹奏楽祭に吹奏楽部が参加しました。

クラシックからポップスまで各校がそれぞれ趣向を凝らした演奏を行いました。本校は「吹奏楽のための『ワルツ』」 「September」の2曲を演奏しました。1年生にとっては初めての演奏会で緊張もありましたが、本番では堂々と落ち着いて演奏することができました。

春季写真コンクール講評会

6月8日(金) 松江市総合文化センタープラバホールで開催された平成30年度高文連春季写真専門部春季写真コンクール講評会に写真部が参加しました。

当日は雨で大変でしたが、プロのカメラマンの方々から出品した写真の講評をいただき、大変勉強になりました。本校からは5名、7作品が特選に選ばれ、県高校写真展への出品資格を得ることができました。



出雲地区美術講習会

国立三瓶青少年交流の家にて5月31日(木) から6月2日(土) まで2泊3日で開催された出雲地区美術講習会に美術部が参加しました。

今年は奈良芸術短期大学から、美術科の高橋頭児先生、小笠美華先生のお二人に来ていただき、3日間の絵画指導と、講評をしていただきました。心配された天気にも恵まれ、気持ち良く三瓶の新緑の中で写生することができました。



6月15日(金) 松江市民活動センター(スティックビル)で開催された平成30年度第54回島根県高等学校放送コンテスト兼第65回NHK杯全国高校放送

コンテスト島根県大会に放送部が参加しました。

アナウンス部門、朗読部門では地区大会を勝ち上がった4名が参加し、朗読部門で見事決勝に進出しましたが、惜しくも全国大会出場は逃す結果となりました。番組部門は3作品を出品しましたが、いずれも全国大会出場はなりません。悔しい結果となりましたが、自分たちの思いを「伝える」ということはできたのではないかと思います。取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



放送コンテスト



物理：実験を通して自分の仮説を検証し、なぜその結果になったのかを考える。



数学：解答を導くための最適な方法を考えたり、示された解答例の間違いを指摘する。



世界史：グループごとに異なる資料を読み、その情報を共有することで問いに対する考えをまとめる。(知識構成型ジグソー法)



英語：テーマについてグループ別に意見をまとめ、英語でディベートを行う。

【研究授業】

五月から七月にかけて、「教育課程実践モデル事業」の研究授業を行いました。各教科とも示された問いについて「考える場面」を設け、これまでに得た知識を活用して考えたり、示された解答を批判的に見て間違いを探すなどの活動を行いました。

また「表現する時間」では、なぜその解答を得たのか理由を言葉で整理したり、グループワークでお互いの考えを共有するなどの活動を行いました。授業後には授業研究を行い、授業の目的に対する成果や今後の展開などを話し合いました。

【芸術鑑賞～須川展也さん(サクソ) 小柳美奈子さん(ピアノ) をお迎えして～】



六月二十日(水)六・七限、本校体育館に日本が世界に誇るサクソフォン奏者須川展也さんとピアニスト小柳美奈子さんを迎えて、芸術鑑賞会を開催しました。須川さんの演奏が始まると、そのハイレベルな技巧、迫力、音色の美しさ、多彩さのすべてに生徒は圧倒され、目を輝かせて聴き入っていました。演奏だけでなく、須川さんと小柳さんのトークは会場を包み込むような優しさと機知にあふれ、多くの生徒の心に響きました。後半

最後に三刀屋高校の校歌を演奏してください、会場が一体となって三刀屋高校校歌を歌いました。素晴らしい時間を共有することができた芸術鑑賞会でした。

に設けられた質問コーナーでは、吹奏楽部員の演奏上の質問から野球部、演劇部員のメンタル面の疑問まで、一つ一つに丁寧な回答や、世界で活躍し、国際的な支持を集めている演奏者の優れたパフォーマンスの片鱗に触れることができました。